

ユニバーサルプリント + 情報セキュリティ

『メーカー、機種を問わず』全ての複合機やプリンターで『認証印刷』が可能です。

メーカーや機種に依存することなく、既存の印刷環境に追加するだけで、既存のICカード(身分証明書等)による認証印刷が実現できます。放置/盗難/混入/盗み見の抑制など、印刷物からの情報漏えい防止に役立ちます。

複合機によるコピーやスキャンについてもICカード認証を適用することで、紙資料による情報漏えいのリスクを抑制できます。

プリンタを意識せずに『どこでも』印刷出力が可能です。

ネットワークに接続されたプリンタであれば、どこでも印刷出力が可能です。PCには機種ごとの複数のドライバーをインストールする必要はありません。混み合ったプリンタでの印刷待ちストレスもありません。

各複合機独自の印刷設定、印刷ジョブの選択/キャンセルがタッチパネルからできるので、無駄な印刷が防げます。

誰が、いつ、何を印刷したのか『印刷ログ』『印刷イメージログ』として記録します。

誰が、いつ、何を、何処から、どれだけ印刷したのかを印刷ログとして記録します。印刷ログは、印刷した内容をそのまま印刷イメージログとして記録することもできます。これによって、スピーディーな情報漏洩事故対策が可能になります。

『印刷コスト』『導入コスト』を削減できます。

印刷ログによる、印刷証跡の記録や個人単位の印刷枚数等の管理が無駄な印刷の抑止効果となり、印刷コストの削減が実現できます。

既存の複合機(MFP)やプリンタがそのまま使用できます。認証プリントシステム導入のために、メーカー機種を統一する必要がないので、既存資産を活用でき導入コストを削減することが可能です。

既存のICカード(身分証、社員証、Suica/PASMO、おサイフケータイ)がそのまま使用可能です。

